

ニッポン成長株オープン(愛称 一等星)の運用状況について

ニッポン成長株オープン(愛称 一等星)

追加型投信／国内／株式

2015年4月6日

- ★ 昨年10月末の日本銀行の追加金融緩和政策決定以降、国内株式市場では金融相場の様相が強まり、新興市場株は主力大型株に出遅れる展開となっております。
- ★ 当ファンドでは、新興市場株の出遅れ局面を投資の好機ととらえ、利益成長が期待される企業を選別し、積極的に新興市場株に投資しております。

1. 主力大型株に出遅れる新興市場株

昨年9月末からの株価指数等の推移を見ますと、日本銀行による追加金融緩和政策が決定された10月末以降、主力大型株の構成比率が高い日経平均株価が上昇基調となっている反面、日経JASDAQ平均株価や東証マザーズ指数など新興市場株の株価指数等の出遅れが顕著となっております(図表1)。

追加金融緩和により、国内株式市場で金融相場の様相が強まったことや、大手公的年金による日本株式投資比率の引上げにより、時価総額の大きい大型株が選好されたことが背景にあると思われます。また、新興市場への新規株式公開(IPO)の件数が増加しておりますが、株価は上場直後こそ活況となりますが、その後は低迷する銘柄が多く、個人投資家などが新興市場株への投資を敬遠していることなども株価が出遅れている理由の一つと考えられます。

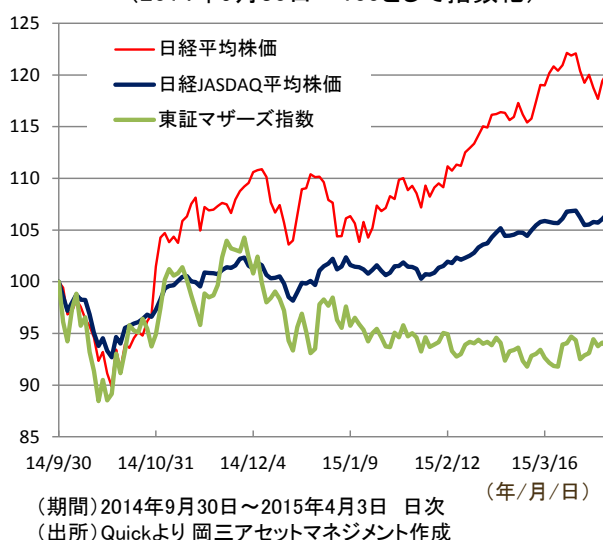
2. 当ファンドでの取り組み

新興市場に上場する企業のなかには、オーナー経営者などの強いリーダーシップのもと、独自の強みや特色のあるビジネスモデルにより業績拡大を続ける魅力的な企業が存在します。当ファンドでは、イノベーションなどにより、中長期的な利益成長が期待される企業を選別するなかで、新興市場銘柄にも積極的に投資しております。具体的には、通信監視技術を応用したモバイルデータ伝送機器を海外で展開しているサン電子や、たこ焼き「築地銀だこ」を全国展開するホットランドなどを新興市場投資銘柄の上位としております(図表2)。

主力大型株に対し、新興市場株の出遅れが顕著となっている局面を好機ととらえ、市場流動性などにも配慮しながら、今後も銘柄選別を通じ、積極的に投資を行う方針です。

図表1. 株価指数推移

(2014年9月30日=100として指数化)



図表2. 新興市場上場の組入上位10銘柄

(2015年4月3日時点)

順位	銘柄名	市場	業種	構成比
1	サン電子	JASDAQ	電気機器	2.4%
2	ホットランド	東証マザーズ	小売業	2.0%
3	サマンサタバサジャパンリミテッド	東証マザーズ	その他製品	1.9%
4	セブテーニ・ホールディングス	JASDAQ	サービス業	1.8%
5	デジタルガレージ	JASDAQ	情報・通信業	1.7%
6	タカラバイオ	東証マザーズ	化学	1.5%
7	ディー・エル・イー	東証マザーズ	情報・通信業	1.5%
8	フィックスターズ	東証マザーズ	情報・通信業	1.4%
9	じげん	東証マザーズ	情報・通信業	1.3%
10	ペプチドリーム	東証マザーズ	医薬品	1.3%

※構成比は当ファンドの純資産総額に対する比率です。

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、「ニッポン成長株オープン(愛称 一等星)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

ニッポン成長株オープン(愛称 一等星)
追加型投信／国内／株式

ニッポン成長株オープン(愛称 一等星) ファンドの特色

- 日本の成長が期待される企業の株式※へ投資を行います。
※日本の金融商品取引所上場(上場予定を含みます。)株式を主要投資対象とします。
- 成長企業の選別にあたっては、高い技術力、優れた商品開発力、特徴あるビジネスモデル、事業構造の改革などにより、利益成長が期待される企業を重視します。なお、新興市場の株式に積極的に投資することがあります。
- 銘柄の選定にあたっては、ボトムアップ・アプローチを基本とし、バリュエーション、業績の変化、イノベーション等に着目します。
- 株式の組入比率は高位を保つことを基本としますが、投資環境や市況動向に対応し投資信託財産の純資産額の0%から100%の範囲で機動的に変更する場合があります。なお、株式の実質組入比率の引き下げを目的として、株価指数先物取引を行う場合があります。



運用状況

(作成基準日：2015年4月3日)

■ ファンドの状況

基準価額	10,377円
純資産総額	6,260,429,560円
株式組入比率	94.8%
組入銘柄数	63銘柄

※基準価額は1万口当たりです。

■ 市場別・規模別等構成比

市場・規模別	構成比
東証1部大型株	0.0 %
東証1部中型株	12.2 %
東証1部小型株	53.1 %
東証1部その他	1.5 %
東証2部	2.7 %
JASDAQ	11.8 %
東証マザーズ	13.5 %

※構成比は当ファンドの純資産総額に対する比率です。

■ 組入上位10業種

順位	業種名	構成比
1	サービス業	22.5 %
2	化学	14.4 %
3	情報・通信業	13.9 %
4	電気機器	10.1 %
5	機械	5.6 %
6	卸売業	5.2 %
7	小売業	3.5 %
8	精密機器	3.2 %
9	その他製品	2.9 %
10	建設業	2.5 %

※構成比は当ファンドの純資産総額に対する比率です。

■ 組入上位10銘柄

順位	銘柄名	構成比
1	クックパッド	3.5 %
2	あい ホールディングス	2.8 %
3	ワコム	2.7 %
4	サイバーエージェント	2.5 %
5	トラスコ中山	2.5 %
6	オープンハウス	2.4 %
7	サン電子	2.4 %
8	セントラル硝子	2.3 %
9	日立マクセル	2.2 %
10	エス・エム・エス	2.2 %

※構成比は当ファンドの純資産総額に対する比率です。

(作成：エクイティ運用部)

＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は、「ニッポン成長株オープン(愛称 一等星)」に関する情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものでもありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目録見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。



ニッポン成長株オープン(愛称 一等星)
追加型投信／国内／株式

ニッポン成長株オープン(愛称 一等星)に関する留意事項

【岡三アセットマネジメントについて】

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

【投資リスク】

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。ファンドは、国内の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。
 - ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「流動性リスク」、「信用リスク」があります。
- ※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

【その他の留意点】

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
 - 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
 - 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが見込まれる場合も同様です。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご参照ください。

【お客様にご負担いただく費用】

＜お客様が直接的に負担する費用＞

- 購入時
購入時手数料：購入価額×購入口数×上限3.24%(税抜3.0%)
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
換金手数料：ありません。
信託財産留保額：ありません。

＜お客様が信託財産で間接的に負担する費用＞

- 保有期間中
運用管理費用（信託報酬）
：純資産総額×年率1.6632%（税抜1.54%）
 - その他費用・手数料
監査費用：純資産総額×年率0.0108%(税抜0.01%)
 - 有価証券等の売買に係る売買委託手数料、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等を信託財産でご負担いただきます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）
- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。

販売会社

(受益権の募集の取扱い、投資信託説明書(交付目論見書)、投資信託説明書(請求目論見書)及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。なお、販売会社には取次証券会社が含まれております)

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融 商品取引業 協会
(金融商品取引業者)					
飯塚中川証券株式会社	福岡財務支局長(金商)第1号	○			
臼木証券株式会社	関東財務局長(金商)第31号	○			
寿証券株式会社	東海財務局長(金商)第7号	○			
篠山証券株式会社	近畿財務局長(金商)第16号	○			
静岡東海証券株式会社	東海財務局長(金商)第8号	○			
島大証券株式会社	北陸財務局長(金商)第6号	○			
株式会社証券ジャパン	関東財務局長(金商)第170号	○			
新大垣証券株式会社	東海財務局長(金商)第11号	○			
株式会社しん証券さかもと	北陸財務局長(金商)第5号	○			
大山日ノ丸証券株式会社	中国財務局長(金商)第5号	○			
頭川証券株式会社	北陸財務局長(金商)第8号	○			
東武証券株式会社	関東財務局長(金商)第120号	○			
長野證券株式会社	関東財務局長(金商)第125号	○			
奈良証券株式会社	近畿財務局長(金商)第25号	○			
播陽証券株式会社	近畿財務局長(金商)第29号	○			
八幡証券株式会社	中国財務局長(金商)第7号	○			
リーディング証券株式会社	関東財務局長(金商)第78号	○			
六和証券株式会社	近畿財務局長(金商)第37号	○			

<本資料に関するお問合わせ先>

カスタマーサービス部 フリーダイヤル **0120-048-214** (9:00~17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く)